

土木図書館委員会活動記録 1994-2004

1. 委員会活動の概要

土木図書館委員会は 1965（昭和 40）年土木図書館設立に伴って設けられた土木図書館建設委員会（1961.7～1965.3 金子源一郎委員長）、引き続き運営支援のために設置された土木図書館運営委員会（1964.2～1968.5 米元卓介、森 茂各委員長）、その後文献調査委員会の下に置かれた図書館運営小委員会（1968.6～1987.5 園田桂一委員長）を引き継いで 1988（昭和 63）年 4 月に発足し、現在に至っている。1994 年以降の土木図書館委員会の組織と歴代委員長は以下の通りである。

【主な組織・歴代委員長と構成人数の変遷】

1994 年度 土木図書館委員会（三上市蔵 委員 14 名）シソーラス小委員会（三浦裕二 委員 18 名）

1995～1998 年度 土木図書館委員会（三上市蔵 委員 14 名）

1999～2001 年度 土木図書館委員会（宮村 忠、松浦茂樹 委員 8 名）

2002 年度 土木図書館委員会（松浦茂樹 委員 13 名）

近代資料収集小委員会（松浦茂樹 委員 6 名）江戸開府 400 年記念企画小委員会（松浦茂樹 6 名）

2003・2004 年度 土木図書館委員会（松浦茂樹 委員 13 名）

近代資料収集小委員会（松浦茂樹 委員 6 名）古市公威生誕 150 年記念企画小委員会（松浦茂樹 委員 9 名）

情報検索支援システム研究小委員会（野末道子 委員 6 名）選書小委員会（五十畑弘 委員 4 名）

土木仮想博物館（仮称）研究小委員会（北村真一 委員 5 名）

前期（1994～1998）三上委員長時代は、図書館情報化への取り組み、データベースの構築が集中的に行われた。中期（1999～2000）宮村委員長の時期には、戦前期の貴重資料収集や土木技術者の先人達の資料調査などを中心とする活動が行われた。後期（2001～2004）松浦委員長時代には、新館建設に伴い、土木図書館の新たな姿の検討、図書館情報化の再構築、デジタルアーカイブ、企画展などへの取り組みが行われたと概括できる。

2. 主な成果

当委員会の使命は土木図書館の運営支援にあるが、時代の変遷とともに会員が求める土木図書館のあり方そのものが大きく変わってきており、特にこの 10 年は情報化社会の進展の中で、土木に関する総合的な文献情報の収集・保存・蓄積・公開を行う「土木図書館」の新たなビジョンが求められてきた。また、2002（平成 14）年 5 月には新土木図書館が竣工し、土木図書館の新たな一步を踏み出すこととなったが、当委員会は新館開設に向けて多くの面で支援を行い、ビジョンの具現化をはかった。その成果は大きく以下の 5 項目となる。

2.1 目録・書誌データベースの構築とインターネット公開

当委員会は図書館情報化支援に早くから着手し、1993（平成 5）年に土木図書館の蔵書目録データベース（以下 DB）を構築し、インターネットが普及する前から、電話回線によるオンライン検索システムを実現している。また、学術情報センターへの「年次学術講演概要集」書誌データの取りまとめ・提供を担当し、土木学会会員であれば利用できるオンライン検索の仕組みも実現した。これらの成果の普及に向け、全国大会でのデモを継続して実施し、また 1994（平成 6）年にはセミナー「電子図書館の計画と実現～近未来の土木図書館の姿を求めて～」を開催するなど啓発普及に努めた。続いて 1996（平成 8）年に「学会誌・論文集」書誌データベースを構築するとともに、ようやく実現可能となってきたインターネットでの

提供への検討に着手し、同年の全国大会ではインターネット利用のデモを行った。これを受けて1998(平成10)年1月に土木図書館ホームページを開設。インターネットでの利用を開始し、提供するDBも所蔵DB及び学会誌・論文集書誌DBに加え、「年次学術講演概要集」を含む各委員会論文集の書誌DBが新たに加わった。現時点での主要なDBの概要を以下の表2-1-1に示す。

表2-1-1 土木図書館が提供するDBの概要

DBの種類	内容	件数	備考
蔵書目録DB	和洋図書・雑誌のタイトル、著者名、発行所名、発行年、頁数などの情報	和書 3万件 洋書 4千件 和雑誌 600件 洋雑誌 200件	
書誌DB	学会誌、論文集、年講を含む委員会講演シンポジウム論文集、支部年講論文集、主要土木関連雑誌などの論文毎のタイトル、著者名、巻号・年月、抄録、キーワードの情報	学会誌 2.3万件 論文集 1.1万件 委員会論文集 60種 13.7万件 支部論文集 6万件 主要土木関連雑誌 30種 7万件	学会誌、論文集、委員会論文集、支部論文集は創刊号～最新号までを収録 主要土木関連雑誌は20年分を収録
土木史年表DB 「土木365日」	土木史年表のデータを中心に、年月日や出来事、解説、参考文献の情報	1,500件	『土木工学ハンドブック』所収の「土木史年表」データ

2.2 土木デジタルアーカイブスの構築・公開

情報技術の進展とともに、目録・書誌DBに止まらず文献の全文や貴重画像などを提供する仕組みの検討にも着手し、2002(平成14)年5月の新館オープンに併せ、土木図書館ホームページ上で土木学会誌・論文集の創刊から昭和30年までの全文を掲載、また戦前土木絵葉書や古市公威旧蔵写真集などを公開した。現時点で公開中のリストを以下の表2-3-1に示す。

表2-2-1 土木デジタルアーカイブス公開項目リスト

種類	内容	収録範囲
戦前貴重雑誌全文	学会誌、論文集、工学会誌(土木篇)、建設、土木満州、土木建築工事画報などの目次html及び記事単位の全文PDF	学会誌 大正4年(1巻1号)～昭和30年(40巻12号) 論文集 昭和19年(1号)～30年(30号) 工学会誌 明治14年(1巻)～大正10年(452巻) 建設・土木満州 昭和11～19年 土木建築工事画報 大正14年(1巻)～昭和15年(15巻)
戦前名著	土木学会戦前名著100選	50冊を収録
土木写真・絵葉書	古市公威旧蔵写真、戦前絵葉書、震災復興写真、橋梁写真、工事写真などのjpgファイル	古市公威旧蔵写真集 117点(解題付) 戦前土木絵葉書 3,600点 震災復興写真 1,200点 橋梁写真 900点 その他工事写真 1,000点
歴史的鋼橋集覧	橋梁仕様データ、写真、位置図、一般図	歴史的鋼橋 900橋(鋼構造委員会歴史的鋼橋調査小委員会提供)
基準類	道路構造令、コンクリート標準示方書	道路構造令 大正8、昭和3、昭和10、昭和11(解説) コンクリート標準示方書 昭和6～26年

2.3 戦前期貴重文献の調査・収集・公開

当委員会は土木史に残る貴重資料の収集・調査支援活動にも目を向け、1999(平成11)年には古市公威、沖野忠雄、赤木正雄の調査を開始するとともに、山田寅吉文書や真田秀吉文書の調査・整理・保管にも着手。これらの成果を受けて、2000(平成12)年の全国大会研究討論会で【写真展・トークショー】写真と語る「土木の先人たち」を開催した。また2003(平成15)年「江戸開府400年記念企画展」や2004(平成16)年「古市公威生誕150年記念企画展」などのパネル展などを開催支援し、これに伴う資料調査・収集・整理・編集・公開を行った。

2.4 新土木図書館開館支援活動

2002（平成14）年5月の新土木図書館竣工・リニューアルオープンに伴い、他図書館を見学して比較検討を行い図書館施設のあり方に提言を行った。また土木図書館の新しい姿を求めて、その目的・機能・蔵書構成・サービス内容等を全て見直し、土木図書館資料収集方針を定めるとともに、これらを盛り込んだ「紹介パンフレット」を作成し、また図書館HPをリニューアルした。新館開設以来の図書館利用者は以前に比べ漸増、HPアクセス数は2年間で37万アクセスと激増している（図2-4-1～3を参照）。

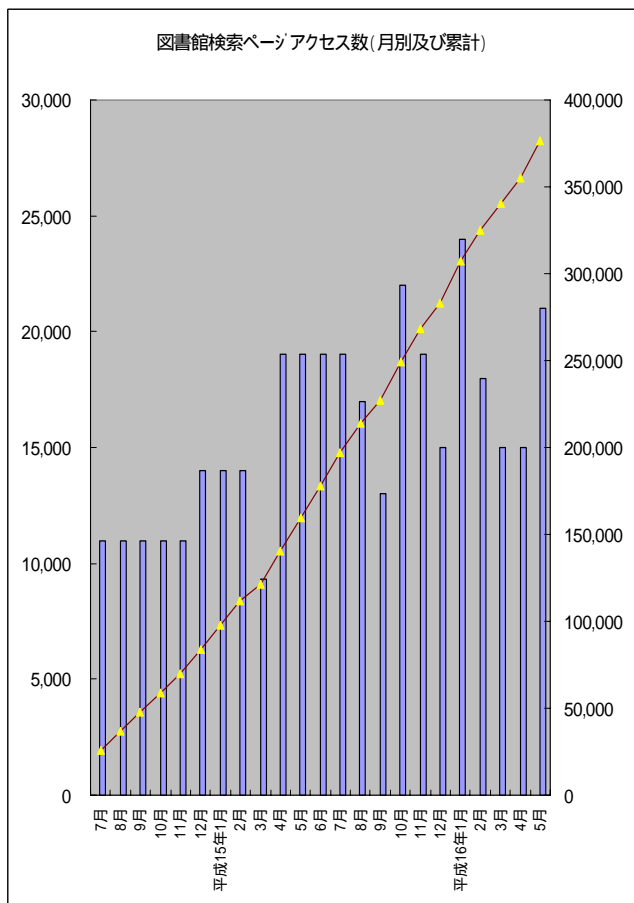


図2-4-1 土木図書館 HP 月別アクセス数及び累計

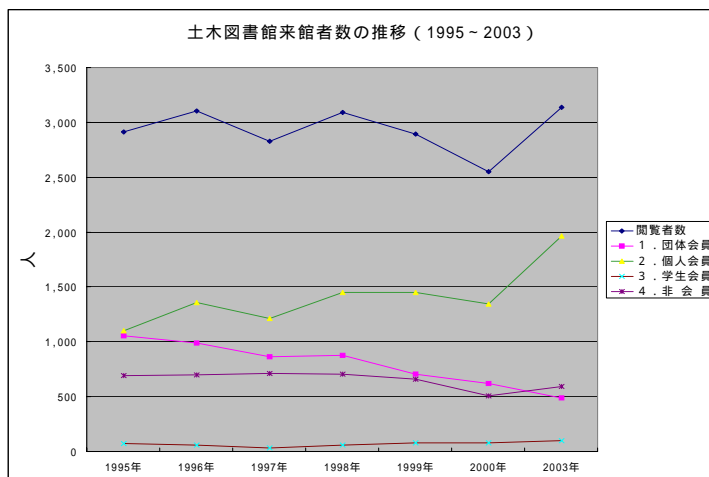


図2-4-2 土木図書館来館者数推移



図2-4-3 土木図書館 HP トップページイメージ

2.5 図書館間相互連携

日本建築学会図書館、建設産業図書館その他関連の深い専門図書館との相互連携を行い、特に日本建築学会図書館とは2004（平成16）年2月に協力協定を交わして、相互の会員資格で利用できる体制作りを推進した。

3. 委員会活動の課題及び将来展望

さらに高度化する情報化社会の中で、より一層の会員サービスの充実に向け土木の総合的な学術情報センターとしての役割を担うことが土木図書館の大きな課題であり、当委員会ではこの実現に向け、選書小委員会、近代資料収集小委員会、情報検索システム研究小委員会、土木仮想博物館研究小委員会などの小委員会を設けて、より具体的に研究・検討・支援を行っていく所存である。

土木図書館委員会委員構成の変遷（1994～2004）

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
三上市蔵											
宮村 忠											
松浦茂樹											
相原憲二											
赤木寛一											
朝比奈裕利											
池谷 泉											
石川大輔											
五十畑 弘											
伊藤義人											
岩屋隆夫											
内田 敬											
江口知秀											
大石 潤											
大内智範											
大久保昭男											
小野田 滋											
梶田建夫											
菊岡俱也											
北河大次郎											
北村真一											
久保田稔男											
倉地 晶											
小松 理											
小宮一仁											
今 尚之											
進藤善子											
高旗智之											
知野泰明											
辻 省悟											
長尾正之											
中沢正利											
野末道子											
藤井三樹夫											
藤崎敦久											
藤澤泰雄											
増淵文男											
松本浩徳											
守田 優											
山田 智											
吉崎 保											
藤井肇男											
坂本真至											

（ : 委員長 : 委員 : 担当事務局）

注）1992（平成4）年 『くらしとどぼくのガイドブック』（土木図書館委員会編 日刊建設工業新聞社刊）を発行